

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 3 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	・防災対策の充実を図る。 1) 様々な状況を想定した訓練(自然災害)が不足 2) 災害時の備蓄品不足	・防災への意識向上を図りながら、災害に備え訓練や設備を充実させる。	1) 自然災害を想定した防災訓練の実施。 (年2回の防災訓練にて実施) 夜間を想定するなど、対応が難しい状況設定を行い、問題・課題を明確にしていきながら、防災対策の充実を図る。地域連携の強化や職員研修など、必要に応じて随時実施して行く。	6ヶ月
2				2) 非常用の備蓄品の充実を図る。 食料、飲料水の備蓄を3日分は確保する。 その他、必要物品の見直し実施。	2ヶ月
3	40	・食事を楽しむ支援を充実させる。 重度利用者様が多くご利用されているため、3食・おやつと、1Fの調理室にて作られている。利用者様が、献立を考えたり、調理、配膳、後かたづけなどに、携わる機会が少ない状況。	・食事や過程を含め、「生活の楽しみ」であるという、理解を深め、できる範囲で「食」に携わる支援を実施する。	・出来る範囲で、食事の準備、後かたづけを、一緒に行ない、習慣化する。 ・おやつ作りから始め「食の楽しみ」を見出す。 ・出来る限り利用者様と「食」を共に楽しめる雰囲気作りを行なう	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。